

はっぴようしゅ
発表者11

ディンダ れいこ
麗子



しゅっしん
●出身・ルーツ

インドネシア

にほん き
●日本に来たのはいつ？

2015年3月

はっぴようしゅ
●発表者コメント

にほん ご きょうみ にほんごりよく たか
日本語に興味があり日本語力を高めたくて、
このスピーチ大会にチャレンジしました。
ぜんりよく がんば ねが
全力で頑張ります。よろしくお願いします。

すいせんしゅ
●推薦者コメント 【神奈川県立座間総合高等学校 今井美幸先生】

クラスメイトとも積極的に関わりを持ち、良い関係を築けています。授業や学校行事にも前向きに取り組み、何事にも一生懸命取り組んでいます。真面目で向上心、好奇心が非常に高く信頼できる生徒です。

スピーチタイトル 「扉を開けて」

いぶん か なか せいかつ
異文化の中で生活するには、言葉の壁、
しゅうかん かべ かんが かつ かべ
習慣の壁、考え方の壁、など、いくつかの壁
があります。でも、高く見える壁にも、どこ
かにとびらがあるはず。ちょっとゆうきを出し
て、とびらを押してみる。とびら へ
扉の向こうには、ど
んな世界が広がっているんだろう。そんなわ
くわくする気持ち、わたしは好きです。
きょう わたし じんせい とびら はな
今日は私の人生の扉について話したい
とおもいます。

まず一つ目は、日本語の扉です。わたしは
インドネシアのバリ島で生まれました。私の
そぼ にほんじん わか ころ にほん だいがく りゅうがく
祖母は日本人で、若い頃、日本の大学に留学
していた祖父と知り合い、結婚して、インド
ネシアに移り住みました。私は祖母と母の

えいきょう にほん きょうみ も
影響で、日本に興味を持つようになり、「い
つか日本へ行って勉強したい」と強く思うよ
うになりました。そんな私の願いをかなえる
ために、2015年、私は両親と日本へ来ま
した。

にほん き わたし りょうしん
日本へ来てから、私は両親のためにも、
いっしょうけんめいべんきょう きよねん ざ ま そうごうこうこう
一生懸命勉強し、そして去年、座間総合高校
に入学しました。座間総合高校には、在県
がいこくじん とくべつ にゅうしせいど
外国人のための特別な入試制度があり、フィ
リピン、中国、スリランカ、ベトナムなど、
さまざま くに せいと ざいせき
様々な国の生徒が在籍しています。
がっこう
学校では「ザイケン」と呼ばれています。

にゅうがくこ ひと いぶん か なか
入学後ザイケンの人たちとは、異文化の中

で暮らす大変さを共有できる安心感もあり、すぐに仲良くなりました。その一方で、日本人の生徒とは、なかなか親しくなれませんでした。日本語を間違えて、相手を怒らせてしまうのではないかと、相手に失礼なことを言ってしまうのではないかと、という不安があったからです。

ある昼休み、同じクラスの花ちゃんという子が、私に話しかけてきました。

「ねえ、ザイケンって何？」
先生が私たちのことを、「ザイケンの生徒」と言うので、私に質問したのです。私はザイケンについて、説明しました。日本へ来て、まだ1、2年くらいしかたっていないくて、日本語がすごく難しく、だから漢字のテストとかできないし、先生に質問されてもわからないんだよ。。。私はあまり自信のない日本語で、一生懸命説明しました。すると花ちゃんは、「へえ！そうなんだ！知らなかった。じゃあ、私も助けないとだめだね。」そして「私は日本人なのに、全然がんばってないね。」と言いました。花ちゃんは、他の友達にも、ザイケンのことを伝えてくれて、それからは、漢字のテストのときなど、「一緒に勉強しよう」と言って、助けてくれました。

私はそのとき、日本人に対して壁を作っていたのは自分自身なのだと気づきました。共通点だけでつながる関係は、楽ですが、つまらないです。扉を押して外に出てみたら、楽しい世界が広がっていました。

二つ目の扉は、アメリカでの体験です。2年生になる今年の春、私は高校の姉妹校訪問に参加し、2週間アメリカに滞在しました。姉妹校の生徒の家にホームステイをしながら、

現地の学校に通うのですが、そこで少し困ったことが起きました。同じ高校に通う私のホストシスターには、ボーイフレンドがいて、学校でも、放課後も、いつもそのボーイフレンドと一緒にいます。まるで私の存在が見えないかのように、目の前で熱いハグをしたり、熱烈なキスをしたり。しかも、二人の会話のスピードについていけず、私はとぼとぼと二人の後ろをついていくだけでした。これもアメリカスタイルなのかと初めは思いましたが、このままでは、英語を使う機会も少なく、何のためにアメリカまで来たのかわかりません。言うべきか、我慢すべきか。言うにしても、私の英語力で、果たして気持ちが相手にちゃんと伝わるのか。

悩んでいるうちに、ホームステイも、あと二日になりました。私はついに自分の気持ちを伝える決心をしました。そして、思いは伝わりました。ほっとしました。翌日からは二人で、スーパーへ買い物に行ったり、話をしたり。彼女は私のために行動してくれるようになりました。とても重い扉でしたが、あきらめずに、勇気を出して押してみても、よかったと思いました。

最後の扉は、私の未来にあります。それは、いつか、インドネシアに日本語の学校を作ることです。昔、祖母が私に教えてくれたように、日本語だけでなく、あいさつや礼儀、人に対する思いやりなど、日本の良い文化や教育を取り入れた学校です。その扉はとても大きくて、開くころには、おばあちゃんになっているかもしれません。でも、「急がば回れ」。祖母が教えてくれた言葉のように、一步一步、夢に向かって、頑張っていきたいと思います。

● らいじょうしゃ はっぴょうしゃ おうえん
来場者・発表者からの応援メッセージ

- 高校生らしい純真さで、扉を開けてゆく行動力に感心しました。将来の夢の扉も開けてください。(原田)
 - 是非インドネシアに日本文化全体を教える素晴らしい学校を作ってください。(出羽はじめ)
 - ディンダ 頑張りました！！ネ。これからたくさんの扉を開けていってください♡(Fukui)
 - ディンダさん 勇気を出して扉を開けていく姿はとても良いと思います。3番目の扉を開けて夢を実現してください。
 - ディンダさん 自分で押して開いた扉、私も見習いたいと思います。ありがとう。(IFC 長谷部)
 - 高校生活の生き生きした様子がとてもよく伝わりました。扉を開いて夢を実現してください。(酒井)
 - ディンダさん 表現力豊かなスピーチ、とても良かったです。ディンダさんはチャレンジャーですね。いつの日か学校も作れるといいですね！応援しています。
 - Excellent speech delivery just like a pro.
 - ”♡”すごくカッコよかったよ！！
 - You did really well. Good job! ^o^
 - ディンダさん 異なる文化の人との交流に感動しました。(竹下)
 - ディンダさん 日本語学校の夢実現させてください。
 - You are an amazing speaker! ^o^
 - 共通点がない人たちとの関係を築くことの大切さを貴方に教えてもらいました。ありがとう
- ♡

